

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	18002	地域企業魅力発信・子どもの職業体験支援事業		課名	産業振興課 商工業・地域交通G	
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	02:地域に根ざした商工業の活性化			款	07:商工費
	施策の方向	02:多様な主体による一体的な取り組みの推進			項	01:商工費
戦略プロジェクト	-		目		02:商工業振興費	
事業予定期間	H 30 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等		0		

② 目的・概要	対象	市内事業者、市内の小学生	
	目的	事業者、商工業団体、行政が一体となって、子どもたちが地域企業の職業体験を行う機会を設けることにより、地域企業の魅力を発信し、商工業の活性化を図るとともに、中学校体験活動支援事業につながる小学生のキャリア教育を推進する。	
概要	市内の小学生を対象とした地域企業の魅力を伝える職業体験イベント(カメジョブキッズ)を開催する団体に対し、イベント運営に係る補助金を交付する。また、次回イベント開催支援に向け、補助制度等の検証・見直しを行う。		

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画		○補助制度の構築 ○補助金の交付	○補助制度等の検証・見直し	
	年度実績		○補助制度の構築 ○補助金の交付 地域企業の魅力を発信し、商工業の活性化を図るとともに、中学校体験活動支援事業につながる小学生のキャリア教育を推進する事業として、亀山商工会議所主催・亀山商工会議所青年部主管により「カメジョブキッズ2018」を開催。		
事業の計画・実績	計画額	事業費		1,300千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	0千円	1,300千円	0千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費 ①	0千円	1,200千円	0千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費 ②		7,783千円		
	一般職員		7,783千円		
	所要人員		1.00		
	臨時職員等	0千円	0千円		
	総コスト(①+②)	0千円	8,983千円		
受益者負担率	0.0%	0.0%			

			平成29年度	平成30年度	令和元年度
④ 指標	①	名称 補助金交付件数	計画値		1
			実績値	課題の整理	1
			単位		件
②	名称 イベントの参加者数	計画値		500	
		実績値		478	
		単位		人	
③	名称	計画値			
		実績値			
		単位			

⑤ 事業の改善行動	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>補助金の交付により事業者、商工業団体、行政が一体となって、子どもたちが地域企業の職業体験を行う機会を設けることにより、地域企業の魅力を発信し、商工業の活性化を図るとともに、中学校体験活動支援事業につながる小学生のキャリア教育を推進する事業「カメジョブ キッズ2018」(主催: 亀山商工会議所)が開催された。</p> <p>開催日時: 平成30年12月9日(日)10:00~16:00 会場: 西野公園 対象者: 小学生 参加費: 1体験500円(別途材料費がかかるプログラムあり)完全予約制</p>	A
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>子供たちに身近な仕事を体験してもらうことで、子供たち自身が働くことの意味やお金の価値などを知り、自分の将来について考えるきっかけの一つになったと思われる。また、市内事業者により22種の職業体験プログラムを実施していただき、亀山市の魅力および地域企業の魅力発信につながった。</p> <p>参加小学生は、252名(体験延べ人数478名)であるが、保護者等を含めると500名以上の参加があり、その参加者からのアンケートによると9割以上が肯定的な意見を、保護者アンケートも9割以上が「満足」と回答している。</p>	A

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 現状は、ほぼ商工会議所青年部のボランティア(青年部約150名)で成り立っており、事業を継続していくためには、マンパワーが必要である。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 イベント運営に対して補助金を交付しているが、次回開催(令和2年度)に向けて、適正な補助金制度へ見直す。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 市内商工業の活性化及び魅力発信が期待できるとともに、中学校体験活動支援事業につながる小学生のキャリア教育の推進が図れる。	
対応時期		令和元年度	

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 商工業・地域交通グループリーダー 青山 有希
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考: 前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	A			
	成果	/	A			